

の がみみつ こ
広島市 野上光子氏所蔵資料 仮目録

広島県立文書館

平成 30 年 (2018) 3 月

凡 例

- 1 本目録には、広島市 野上光子氏所蔵資料を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は (201304) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 201304/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し [] 書きで表記した。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は () で記した。

作 成 資料の作成者を記した。補足した場合は () で表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

備 考 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

広島市 ^{のがみみつこ}野上光子氏所蔵資料（請求記号 201304）

広島藩浅野家に関する年代記。

出 所 未詳

出所地名 未詳

分 量 1点（1冊）

収蔵までの経緯 寄贈者の父親が入手し、身近に置いて大切にしていたが、入手時期や経路は不明。平成 25 年 6 月に県立文書館へ寄贈された。

年 代 天文 16 年（1547）～明治 2 年（1869）

歴 史 木原桑宅（慎一郎）の自筆と伝わる。木原桑宅（1816～1881）は広島藩儒。賀茂郡杵原村出身の医師の子として広島に生まれ、藩儒坂井虎山に学び、その高弟として知られた。漢学に熟達したことから、文久 2 年に民間から抜擢され、藩の学問所の教授を命じられて儒医組となり、明治元年には供頭添役次席に進み、勤中 100 石となった。

内 容 表題のない、広島藩主浅野家に関する漢文、編年体の年代記。冒頭の「伝正公（浅野長政）略系」に続く自序によれば、明治 2 年に、藩史局において歴代広島藩主の記録である「済美録」から要点を抜き出し、「太平表」（泰平年表）に倣い、浅野家の歴史を中心として、各種事件の記事や奇聞を載せたという。漏逸が多いため、後日の補填を期した草稿と思われる。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2015.7.28 記述／西村 晃）

（2018.2.2 改定／西村 晃）

201304/1

〔年代記〕

(天正16～明治 2)

木原藉之(桑宅)

縦冊(罫紙)・1冊

15.6×11.1cm
